

# 水防工法

水防工法は、被災原因（洗掘・漏水・越水）に応じて速やかに現地に適合した工法を選び、緊急に対策を講じなければならない技術です。

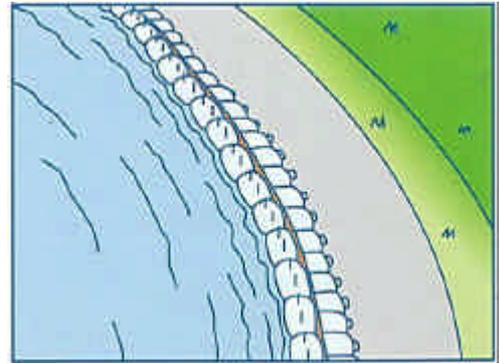
これら工法の大半は緊急に対応可能なように比較的入手の容易な資機材を用いて人力により施工可能な工法となっています。

以下に代表的な工法を紹介します。

【越水】

## 積土のう工

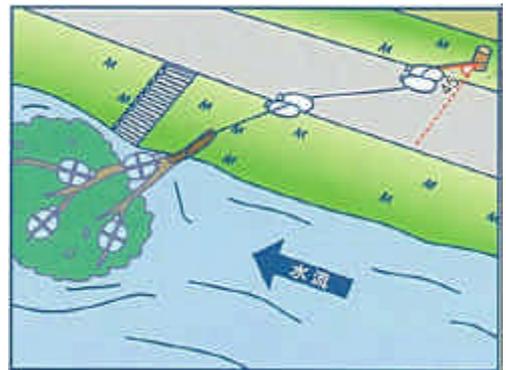
目的： 洪水によって堤防が沈下した場合や堤防等低い場所で、水が堤防等を越すようになったときに用いる工法です。



【洗掘】

## 木流し工

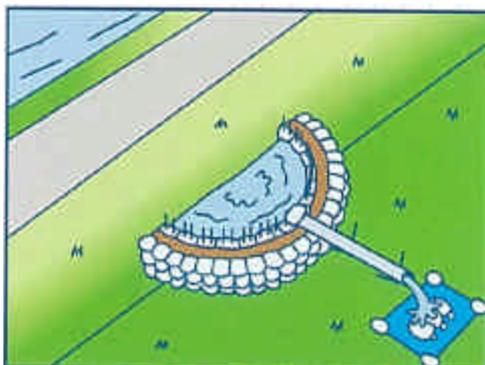
目的： 急流部において流水を緩和し、堤防の表面が崩れるのを防ぐ工法です。また、緩流部では波よけの防止にも使われます。



【漏水】

## 月の輪工

目的： 出水中に、堤防裏側に漏水により水が吹き出し、その漏水口が拡大されるのを、土のうを積んで水の圧力を弱め堤防の決壊を防ぐ工法です。



## 釜段工

目的： 洪水時に堤防裏小段や堤内地に噴出する漏水に対して、川と釜段工に貯えられた水との水圧を均衡に保つことにより、被害の拡大を防ぐ工法です。

